

2024年3月11日

報道関係各位

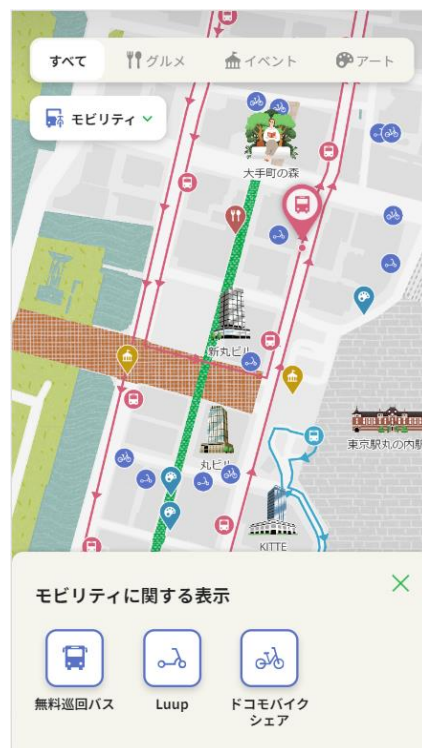
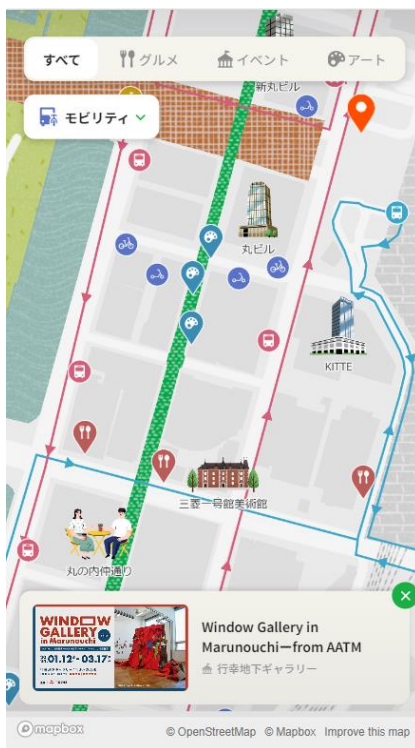
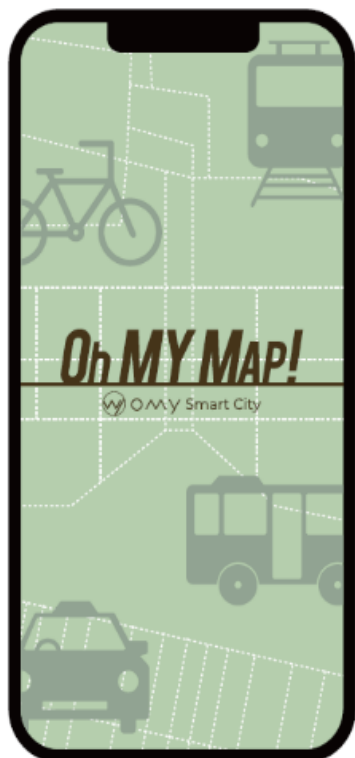
一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

大丸有エリアの情報提供サービス「Oh MY Map！」 周辺地域への回遊実現へ向けたバージョンアップ

八重洲・日本橋・京橋・竹芝など周辺エリアのモビリティ情報と新たに連携

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（以下、大丸有まちづくり協議会）は、大手町・丸の内・有楽町（以下、大丸有）エリアの就業者・来街者向けに、マップ上でイベント情報やモビリティ情報を一括して提供するサービス「Oh MY Map！」を、2024年2月29日より大幅にアップデートして提供開始しました。

2023年10月、「東京都データ連携・活用促進プロジェクト」に大丸有まちづくり協議会が事業者として採択されたことを受け、大丸有スマートシティは東京都内における先行的なスマートシティとして取り組みを加速。来街者に向けたサービスの拡充として、大丸有エリア情報の拡充、デザイン・UI・UXのリニューアルを実施した他、新たに大丸有周辺エリアである八重洲・日本橋・京橋・竹芝エリアのモビリティ情報等を表示し、来街者の回遊性向上への貢献を目指します。



Oh MY Map！ 周辺モビリティ情報の表示と新マップデザイン

「Oh MY Map！」とは

大丸有エリアを訪れる人々のより充実した回遊体験のために、エリアで開催中のイベントや移動に関連する情報を発信しております。デジタルマップとして地下や防災情報も確認できる機能も搭載しており、エリアのインフラマップツールとして今後も更なる機能拡充を行ってまいります。

▶ バージョンアップした「Oh MY Map！」を見る <https://maas.tokyo-omy-w.jp>

報道関係者からのお問い合わせ先

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり PR 事務局 共同ピーアール(株) PR アカウント第二本部 3局 3部
担当：内山・田口 TEL:070-4303-7327 / 090-7739-1083 E-mail: tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp



アップデート概要

① 周辺エリア（八重洲・日本橋・京橋・竹芝）のモビリティ情報の表示

大丸有エリアを走行する「丸の内シャトル」、八重洲・日本橋・京橋エリア周辺を走行する「メトロリンク日本橋・メトロリンク日本橋 E ライン」、東京駅と竹芝エリアを巡回する「JR 竹芝水素シャトルバス」の情報をアプリ上に表示。利用者は、大丸有エリアはもちろん、周辺エリアへの回遊手段を手軽に見つけることができます。これにより、目的地が大丸有エリアに限定されない国内外からの観光客や MICE などのイベント参加者が、大丸有エリアに限らず、周辺エリアもあわせて街を回遊することが可能となります。

② 大丸有エリアに特化した情報の拡充

マップの利用者に、より大丸有エリアの魅力を伝えるために、大丸有エリアに特化したグルメ・イベント・アートなどの情報を表示。大丸有エリアの就業者や来街頻度の高い利用者だけでなく、大丸有エリアへの来街頻度が低い利用者にとっても、大丸有エリアを満喫できるようなコンテンツを配信します。個々の詳細表示も充実しており、マップを眺めることで大丸有エリアの特徴をより深く理解することができます。

③ デザイン・UI・UX の大幅リニューアル

これまでのバージョンから大きくデザインを変更しました。地図デザインを一新し、「東京駅丸の内駅舎」「丸の内仲通り」など大丸有エリアのランドマークを特別なデザインとすることで、大丸有エリアの重要なスポットを見逃すことなく直観的に把握できます。また、大丸有エリアおよび周辺エリアを周回するバスのルートを常時表示することで、ユーザーはバスの行き先を画面上で簡単に確認でき、周辺エリアへの回遊を意識しやすくなります。



リニューアルデザイン図

関連トピックス

① エリア MICE の実現に向けた会場周辺情報の提供

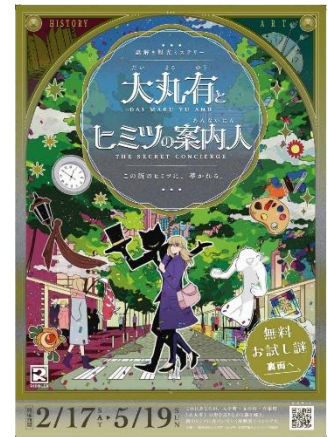
2024 年 2 月 21 日（水）・22 日（木）に大丸有エリアにて開催された「[サステナブル・ブランド国際会議 2024 東京・丸の内](#)」では、公式 HP にて会場周辺エリアマップとして「Oh MY Map !」が採用。イベントに応じてマップデザインもカスタマイズし、会場や関連イベント情報等を掲載したマップとして、MICE 参加者へエリア情報を発信しました。

② 大丸有まちづくり協議会主催周年イベントとの連携

大丸有まちづくり協議会は設立 35 周年を記念し、謎解きイベント「[謎解き観光ミステリー 大丸有とヒミツの案内人](#)」を開催中です。エリアを巡りながら大丸有の魅力体験するイベントであり、エリア内を回遊する際の関連情報として「Oh MY Map !」を通じて情報発信を行っています。

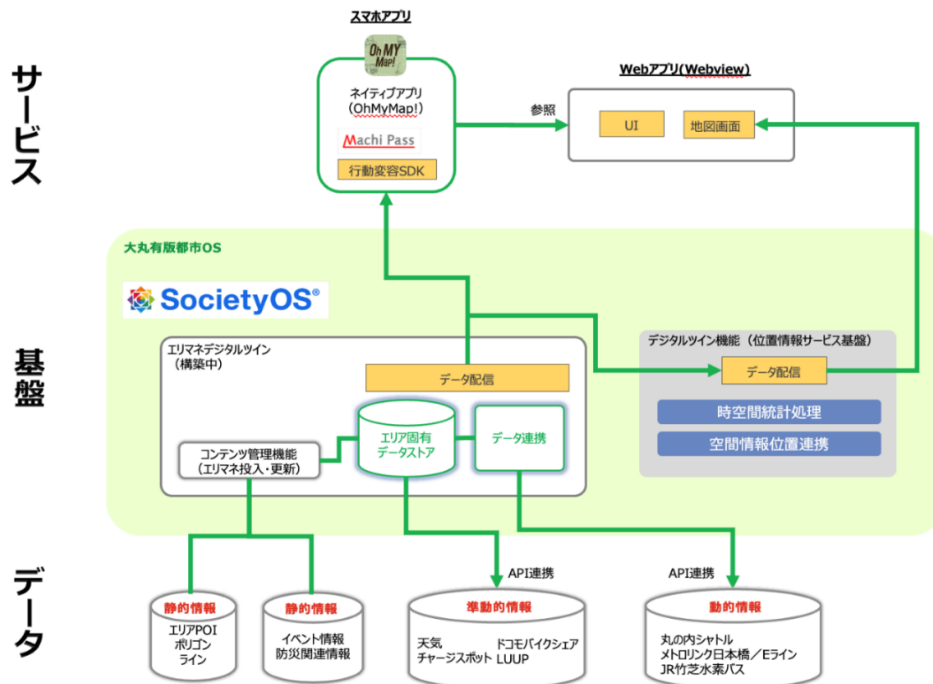
③ オープンデータの積極的活用

大丸有スマートシティでは、2024 年 1 月末より東京都が運用を開始したデータプラットフォーム「[Tokyo Data Platform \(TDPF\)](#)」と大丸有エリア内の情報を発信する「[大丸有データライブラリ](#)」の自動データ連携を実施しています。今後は TDPF 等でオープン化されるデータも活用し、「Oh MY Map !」の機能拡充につなげていきます。



システム全体像

大丸有エリアデータを取得・管理・連携する「大丸有版都市 OS」に、エリア固有の POI データやモビリティ事業者から配信された動的/準動的情報を連携し、Oh MY Map! 上での表示を実現しています。大丸有版都市 OS は、株式会社 NTT データの SocietyOS®により実装し、2020 年より提供しています。



システム全体図

【参考】大丸有エリアとスマートシティについて

大丸有スマートシティ推進コンソーシアム（千代田区・東京都・大丸有協議会）は、2020 年 3 月に策定した「大丸有スマートシティビジョン・実行計画」に続き、「大丸有スマートシティ実行計画 詳細版 ver2.0」を 2023 年 5 月に策定しました。

URL : <https://www.tokyo-omy-w.jp/>

「大丸有スマートシティビジョン」では、大丸有地区の「まちづくりガイドライン」に示された「まちづくりの目標像」を実現するために、ビジョンオリエンテッドのスマートシティ化を掲げています。スマートシティ化をまちづくりの目標を達成するための手段として捉え、新たな技術や都市のデータを活用して、都市機能のアップデートと都市空間のリ・デザインを実現していきます。

デジタルと都市を高度に融合し、都市のリアルタイムデータを収集することで、データに基づいた意思決定を行う「エリマネのデジタルトランスフォーメーション (DX) モデル」「データ活用型エリマネ管理モデル」を確立することを目指します。また、都市の状況をリアルタイムに可視化・分析し、シミュレーションなどをすることが可能とし、まちの「創造性・快適性・効率性」が飛躍的に向上、都市の価値が増大することを目指します。

